ゼロカーボン北海道

ShiriBeshiゼロカーボン推進事業

ShiriBeshi Zero carbon promotion project.

次世代のために
ゼロカーボン北海道
について学ぼう

ZERO CARBON
HOKKAIDO
後志

令和
6年度

取り組んだゼロカーボン事業について

ゼロカーボン北海道とは？

2020年3月、北海道は国に先駆けて2050年までに温室効果ガス実質排出量のゼロを目指すことを宣言しました。
北海道は、環境と経済・社会が調和しながら 成長を続ける「ゼロカーボン北海道」を実現します。

人間活動によって排出される温室効果ガスの排出量と森林等による吸収量を均衡させて、実質ゼロとなることを「ゼロカーボン」と定義しています。

私たち北海道の目標

2030年度までに **-48%**（3,581万t-CO2の削減！）

2050年度までに **実質ゼロ!**

目標の実現のため、ライフスタイルやビジネススタイルの脱炭素化への転換などを進めましょう！

ゼロカーボン北海道で実現する未来

脱炭素化 / 経済活性化 / 持続可能な地域づくり

同時に推進！

北海道は再生可能エネルギーを作りだすポテンシャルが全国随一！再エネの導入と利用をしたり、環境にやさしいライフスタイルに転換して、ゼロカーボンを目指そう！

全8回 管内市町村で開催されるイベントへの参加

ゼロカーボン北海道をPRするため、管内のお祭り・イベントに参加しました。

- R6.8.3　くっちゃんじゃがまつり（倶知安町）
- R6.8.14　ふるさと祭り（京極町）
- R6.8.24　岩内町ゼロカーボン・フェスタ2024（岩内町）
- R6.8.31　村民まつり（真狩村）
- R6.9.29　余市大好きフェスティバル（余市町）
- R6.10.5　しりべし秋の食祭り（仁木町）
- R7.1.25　神恵内カーボンニュートラルミーティング（神恵内村）
- R7.2.16　雪トピアフェスティバル（倶知安町）

主な実施内容

- ゼロカーボン北海道普及啓発パネル展示
- 再エネ学習キットによる実験
- わたがしづくり（EV,PCV等からの給電）

ShiriBeshiゼロカーボン出前授業

次世代を担う小中高生に向けに「今、地球でなにが起きているの？」「なぜゼロカーボンが必要なの？」をテーマに授業を行いました。

R6.10.21 余市町立大川小学校6年生、R6.11.7 京極町立京極小学校6年生、
R6.11.19 北海道寿都高等学校3年生、R7.3.18-19 喜茂別町立喜茂別中学校1.2年生

ShiriBeshi ゼロカーボン リレーパネル展

管内市町村の庁舎や公共施設などに「ゼロカーボン北海道の取組について」「脱炭素ライフビジネススタイルへの転換方法」などを紹介するパネル展を行いました。（R6＝6町村で実施）

ShiriBeshi ゼロカーボン 記念植樹

「ゼロカーボンシティ宣言」をした市町村にCO2吸収率の高い「クリーンラーチ」を植樹しました。

後志独自

ワイナリーにおけるカーボンニュートラルの推進

POINT

後志は、振興局別ワイナリー数が全道一「日本ワイン」生産量においては全国一

管内のワイン製造状況に着目し、管内ワイナリーや北海道ワイン教育研究センターと連携して、「ワイナリーにおけるカーボンニュートラルの推進」の取組を進めており、ワインの製造過程（ブドウの育成含む。）において、環境への配慮や、ゼロカーボンの取組を行うことによって、ワインの環境付加価値が高まり、それがさらなるブランド力の向上につながることを狙いとしています。

ワイン産地のヨーロッパや国産ワインを製造している他県などでは、地球温暖化の影響で近年、ブドウの着色不良や早熟化による酸味の低下などブドウの産地に影響が出てきています。ワインは、味わいや香りが重要であり、**「ワインは9割がブドウで決まる」**とも言われているので、**ワインと地球温暖化は超密接な関係**です。

ワイナリーにおけるカーボンニュートラルの推進

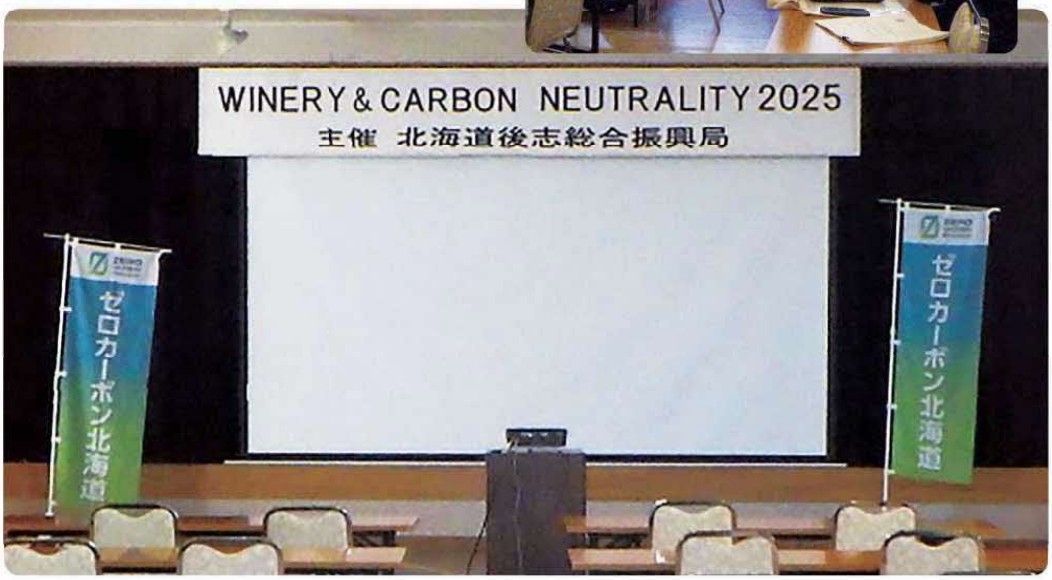
「ゼロカーボン北海道」の実現と振興局別でワイナリー数、日本ワイン生産量全道一である後志産ワインのさらなるブランド力向上に繋げることを目的として、ワイナリーが取り組むことのできる国内外の取組事例の調査とその結果の周知を行っています。

講演会リーフレット

令和5年度
- 国内取組事例に係る現地視察（山梨県・4パーミル・イニシアチブ）
- 国内現地視察結果発表と主な取組主体による取組事例紹介（講演会実施）

北海道大学
北海道ワイン教育研究センター
曾根 輝雄 氏

北海道大学
国際食資源学院
博士課程 佐々木 皓平 氏



令和6年度
- 北海道大学北海道ワイン教育研究センターとの連携（委託）による国外事例調査実施
- 国外事例調査結果発表（講演会実施）

令和7年度（予定）
- 環境付加価値追加による商品ブランド力向上の一般論に係る情報収集とワイン製造への適応の研究
- 事業者によるCO2排出の「スコープ3」分野に係る取組、対応等に関する調査研究

ゼロカーボン北海道チャレンジ

☑ みんなでゼロカーボンの取組にチャレンジしてみよう！（ゼロチャレ！）

衣

- □ 愛着ある服を長く大切に着よう
- □ 長く着られる服を選んでみよう
- □ 服をレンタル・サブスクしてみよう
- □ 着なくなった服は資源として回収に出そう

食

- □ 地元の食品や旬の食材を食べよう
- □ すぐ食べるものは「てまえどり」
- □ 食品ロス削減！
  食事をおいしく残さず食べきろう
- □ 食材の買い方、保存方法を工夫しよう

住

- □ CO2排出量を知ろう
- □ 住宅の住み替え時に
  北方型住宅2020やZEHの家を選んでみよう
- □ 節電・節水に取り組もう
- □ 家電の買い換え時に省エネ家電を選ぼう
- □ 太陽光パネルを設置しよう

ごみ(廃棄物)

- □ プラスチックごみの削減、
  マイボトルを持ち歩こう
- □ 海をきれいにしよう
- □ ごみ拾い運動に参加して
  街をきれいにしよう

教育

- □ 環境の未来について考えよう
- □ 子どもを通じて親子で学ぼう
- □ 家族で環境の取組をやってみよう

スポーツ&健康

- □ 通勤・通学・レジャーでは、ウォーキングや
  自転車を利用してみよう
- □ 晴れた日は歩いて健康づくりをしよう
- □ できるだけ階段を使って体を動かそう

交通

- □ EV車を利用してみよう
- □ 自転車や公共交通機関を利用しよう
- □ 車の買い替え時に次世代自動車を選んでみよう
- □ エコドライブを実践してみよう

森林

- □ 木を植えて、育てて、楽しもう
- □ 森林散策でリフレッシュしよう
- □ 暮らしに木を取り入れよう

ビジネス

- □ CO2排出量を知ろう
- □ 紙の使用を節減しよう
- □ ノーマイカー通勤、ノー残業デーを進めよう
- □ 在宅勤務やワーケーションに取り組もう

やってみよう！おうちのCO2測定！

北海道ゼロチャレ！家計簿アプリについて

アプリに電気やガス、ガソリン等の使用量を入力
（月に1度～、1回5分程度でOK!）

おうちからのCO2排出量がグラフでわかります

絶賛公開中！

インストールはコチラ

またはアプリストアにて

北海道ゼロチャレ!家計簿 検索

Web版URL
https://zerocarbon.pref.hokkaido.lg.jp/

Google Play で手に入れよう

App Store からダウンロード

後志総合振興局

後志総合振興局保健環境部環境生活課
〒044-8588 虻田郡倶知安町北1条東2丁目後志合同庁舎
TEL 0136-23-1351
Mail shiribeshi.kankyo10@pref.hokkaido.ig.jp

北海道 ZERO CARBON HOKKAIDO 後志
R6 ShiriBeshiゼロカーボン推進事業
R7.3 発行